

2025 年度日本海洋学会春季評議員会議事録

日時: 2025 年 5 月 26 日 (月) 17:30~19:00

場所: 幕張メッセ国際会議場 105 号室 および Zoom を利用したハイブリッド開催

出席者 (途中からの参加者を含む): 江淵会長、原田副会長、青木、安藤、石井、石川、石坂、伊藤(進)、岩本、上野、大林、岡(顕)、岡(英)、小川、乙坂、小埜、小畑、川合(美)、川合(義)、神田、木田、北出、瀬瀬、小松、根田、近藤、齊藤、須賀、宗林、東塚、中野、西岡、野口、野中、日比谷、広瀬、升本、森岡、森本、安田(一)、安中、吉川 各評議委員 (40 名)

久保川編集委員長、長谷川理事、土井理事、渡部理事、碓氷次期理事、橋濱次期理事、塩崎次期理事、草原次期理事、林次期理事、中村支部長、福田研究会会長、高木研究会会長、笠井次期大会委員長、毎日学術フォーラム(米岡)

社員総会に出席した理事及び監事:

理事 江淵 直人、同 原田 尚美、同 伊藤 幸彦、同 岩本 洋子、同 大林 由美子、同 岡 顕、同 岡 英太郎、同 川合 美千代、同 久保川 厚、同 齊藤 宏明、同 土井 威志、同 中野 英之、同 野口(相田)真希、同 長谷川 大介、同 安中 さやか、同 渡部 裕美

監事 神田 穰太、同 伊藤 進一

議長: 理事 (代表理事) 江淵 直人

議事録の作成に係る職務を行った者: 理事 (集会担当理事) 安中 さやか

1. 開会

開会に先立ち、中野理事より、現地参加 27 名、オンライン参加 8 名、委任状 8 名で、一般社団法人日本海洋学会定款第 4 章第 20 条の規程による評議員会の成立要件を満たしている旨、会長が議長を務める旨、報告があった。

また、江淵会長により、議事録署名人の選出が行われ、神田監事と伊藤監事が選ばれた。

2. 会長挨拶 (江淵会長)

江淵会長より挨拶があった。令和 7 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞 (研究部門) を青木茂会員、阿部彩子会員、高垣直尚会員、若手科学者賞に中山佳洋会員が、それぞれ受賞された旨、JpGU フェローに日比谷紀之会員と川端穂高会員が選出された旨、JpGU 西田賞を土井威志会員が受賞された旨、報告があった。今井一郎会員 (北海道

大学名誉教授・プランクトン学会元会長)の逝去が報告された。引き続き、会員交流の場を提供していきたいとの意向が、表明された。

3. 審議事項

1) 2024年度の事業報告について(岡(顕)理事)

2024年度の事業報告について報告され、承認された。

2) 2024年度の決算報告および監査報告について(野口理事、神田監事)

2024年度の決算報告および監査報告について報告され、承認された。

3) 理事・監事の選任について(江淵会長)

2025-2026年度の理事・監事候補が提案され、承認された。

4) その他

4-1) 2026年度の研究大会について(土井理事)

2026年度の研究大会(春季・秋季)について提案され、承認された。

4-2) 日本学術会議「未来の学術振興構想」の改訂に向けた「学術の中長期研究戦略」の公募への対応について(江淵会長)

「未来の学術振興構想 2023」に掲載された「深海アルゴフロートの全球展開による気候・生態系変動予測の高精度化」を、「ロードマップ 2023」に採択された「統合全球海洋観測システム OneArgo の構築と海洋融合研究の推進」を考慮の上改訂し、再掲載を目指すことが提案され、承認された。

4. 報告事項

1) 会務報告

庶務 2025年度事業計画について(岡(顕)理事)

2025年度事業計画、会員数の動向について報告された。

庶務 受賞記念講演の座長について(岡(顕)理事)

2025年度授賞式における受賞記念講演の座長について報告された。

会計 2025年度予算案について(野口理事)

2025年度予算案(一般会計、基金会計、特別会計)について報告された。

編集

JO(齊藤編集委員長)

JO Vol.80(1)から81(2)までの発行状況、2023年1月から2025年5月までの投稿・受理状況、特別セクションの編集状況、及び新設された Journal of Oceanography Most Cited Paper Award に2本の受賞論文を決定したこと、3名の編集委員の交代について報告された。

海の研究(久保川編集委員長)

2024年度の実績及び2025年度の計画、活動方針、委員の交代、J-STAGE登載について報告された。

JOSニュースレター（岩本編集委員長）

2024年度の発行実績、2025年度の発行予定、新たな編集体制について報告された。

研究発表（土井理事）

2025年度春季大会がJpGU2025の中でハイブリッド形式にて開催されていることが報告された。

2025年度秋季大会が函館地区の会員により、北海道大学函館キャンパスを開催地として実施される予定であることについて報告された。

賞選考

学会賞・岡田賞・宇田賞（西岡前委員長代理）

選考過程および選考結果について報告された。

日高論文賞 奨励論文賞（川合前委員長）

選考過程および選考結果について報告された。

宇野木環境科学賞（安中前委員長）

選考過程および選考結果について報告された。

吉田賞（伊藤(進)前委員長代理）

選考過程および選考結果について報告された。

選挙管理（中野理事）

2025年度の会長候補・副会長候補・監事候補・評議員選挙、理事事前投票、各賞可否投票および賞選考委員選挙結果について報告された。

広報委員会（長谷川委員長）

2024年度の活動と2025年度の委員会体制及びおよび活動予定について報告された。

海洋環境委員会（大林委員長）

2025年度の委員会体制および、「青い海助成」事業に2件応募があり採択されたことが報告された。

海洋観測ガイドライン編集委員会（長谷川委員長）

2025年度は英文第5版の編集を継続すること、および委員の交代が報告された。

西南支部（中村支部長）

2024年度の事業内容、2025年度の事業計画、2025年度以降の新役員幹事について報告された。

海洋環境問題研究会（福田研究会会長）

2024年度の事業内容と2025年度の事業計画が報告された。

海洋生物学研究会（高木研究会会長）

「海洋生物シンポジウム2025」を2025年3月17日にハイブリッドにて開催したことについて報告された。また同日開催された運営委員会において、特に、今後の研究会のあり方、会長はじめ委員の選出方法に関して、議論があったことが報告された。

教育問題研究会（川合研究会会長）

会員動向、2024年度の活動報告、2025年度の活動予定について報告された。

リクルート戦略WG（渡部理事）

2024年度は、「海洋系の大学・進路の相談窓口」の回答ボランティアに応募のあった10名の会員とともに、11件の問い合わせに回答したことが、報告された。

IAPSO委員会（升本委員長）

IAPSO Assembly への日本からの活性化方策や賞への推薦に関して議論があった旨、報告された。

2) 学界関連報告

学界動向（原田副会長）

学界関連の動向について報告された。詳細についてはJOS ニュースレターに掲載される。

水産・海洋科学研究連絡協議会（江淵会長）

昨年12月の会合にて、OneArgo計画の予算化に向けた支援をお願いした旨、報告された。

以上